

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

8~9頁 2009年 大塚司教の主要予定

10~11頁 2009年 教区内の活動予定

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

2009年 司教年頭書簡

召 命

京都教区21世紀召命促進元年

京都司教 パウロ大塚喜直

1. 京都の大殉教52名福者を仰いで

新しい年を迎えて、いのちのみなもとである父なる神さまの祝福を受け、今年も京都教区の信者に託された福音宣教の使命を、「みながひとつになって」(司教のモットー) 果たしていきたいと思います。どうぞ、今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年11月24日、長崎で「ペトロ岐部と187殉教者」の列福式が行われ、「京都の大殉教」52名も福者の位に挙げられました。まず皆さまとともに京都教区にとって光栄あるこのお恵みを神様に感謝したいと思います。そして、四半世紀におよぶ列福運動にご尽力くださった前京都司教・田中健一司教様



と信徒関係各位、キリストン研究会に心より感謝を申し上げます。また、京都教区列福記念事業のための特別献金にお寄せくださいました皆さまのお志しに感謝いたします。ありがとうございました。(注1)

日本の教会は神が日本で始められた宣教の不思議なみわざを記念し、新福者の輝かしい信仰の証しを模範にして、この列福という大きなお恵みを現代の福音宣教に生かしていきます。

「現代の大殉教」を引き受ける決意をした私たちのこれから宣教的生活には、当然確固たる信念と、犠牲を引き受ける勇気が必要です。京都教区は、共同宣教司牧を推進し、福音宣教する共同体づくりにはげんでいますが、京都の大殉教の福者を仰ぎ、丸血留(マルチル)の心で、証しの使命を果たしていきたいと思います。

そこで、私はこれから京都教区の共同宣教司牧推進の努力目標の一つとして、召命促進を

1
2009

2. 京都教区21世紀召命促進元年

召命は現代教会にとっての緊急な課題です。日本においては、司祭と修道者の召命が減少もしくは停滞の状態です。教区司祭も海外から派遣された宣教司祭や修道者も高齢化が進み、その数が年々減少しています。これは日本社会が抱える少子高齢化、多様な価値観、現世利益的な傾向、経済至上主義的傾向、家庭の崩壊などが原因なのでしょうか。

ヨハネ・パウロ二世は、「司祭への召命の危機が文化的環境とキリスト者たちのものの見方と実際の行動に深く根ざしている」とし、したがって緊急に必要なことは「召命を促進する教会の司牧活動が信仰を基礎とし、それに支えられた『キリスト者のものの見方』を回復することにむけられること」だと言わされました。（注2）つまり召命を促進するために、私たちの信仰の基礎をしっかりと固める必要があるのです。もとより司祭や修道者への召命は教会の本性であり、教会に不可欠なものです。（注3）そのため、召命の誕生とその育成を配慮する「召命司牧」は教会全体で取り組むべき事柄であり、これを通して私たちは必ず教会の回心と成長そして教会活動のあり方に関して新しい考察を行になります。召命を促進することは教会の聖性を増す秘訣であり、必ず教会に活力を生み出します。このことを私たちが今実感し、必要な活動を教区レベルで始めるために、今年を『京都教区21世紀召命促進元年』とします。

3. 召命促進運動

「召命」とか「召し出し」

という言葉は、司祭や修道者になるように呼ばれることがあります。神があることを考えます。神がある人を自由に選んでおられるので、その人は自由に召

し出しに応えて司祭や修道者になる道を選びます。

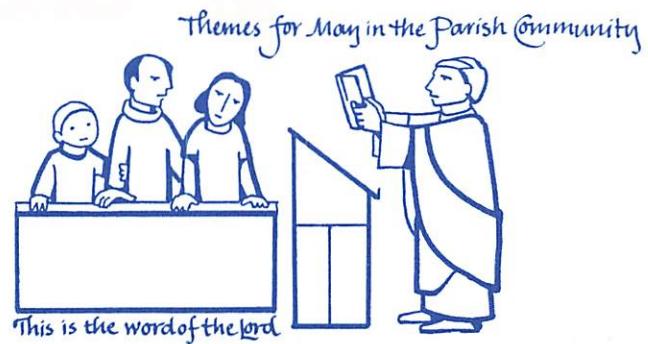
しかし、これだけが召命ではありません。神はすべてのキリスト者にそれぞれの召命を与えておられます。そこで、司祭・修道

者・信徒の皆さんと広く召命について考えて、召命促進のための具体的な活動をすすめていきたいと思います。召命促進には、次のような取り組みの要素があります。

- 召命について「知る」
- 各自の召命について「考え」「選ぶ」

- 召命のために「祈る」
- 召命促進のために「働く」

これらについて、以下述べてみたいと思います。



4. いのちを召命として考える

「召命」ということばは、私たちを創造した神とその愛を受けた人間との関係を表します。神は人をご自分にかたどり、ご自分に似たものとして造り（創1・26参照）、ご自分との深い愛の関係にお招きになりました。

第二バチカン公会議はこう言います。「人間が神への交わりに召されている」ということが、人間の尊嚴の最も崇高な面である。人間はその存在の初めから、神との対話に招かれている。事実、人間が存在するのは、愛によって神から造られ、愛によって神から常にささえられているからであり、神の愛を自由をもって認め、創造主に自分を託さなければ、人間は真理に基づいて充実して生きているとは言えない」（『現代世界憲章』19）。

召命とは、神の啓示のいきいきとした働きを意味し、人間存在の真理を明らかにします。人は愛のうちに神から呼ばれている者なのです。

5. 召命における対話

召命は、呼びかける神の



6. 司祭になりたい！

私は今年3月20日で司祭叙階25年銀祝を迎える。中学生の時に司祭になることを強く志した私は、高校1年から当時あった名古屋教区の聖ヨハネ小神学院で過ごしました。そして大学卒業後、東京カトリック神学院に入学し、本格的に司祭への道に進みました。この神学校6年間、そして司祭叙階から25年たった今、「自分は本当に司祭になつて幸せか」と問われれば、「はい、そうです」と答えます。その理由は、

愛と、愛をもつて神に応える個人の自由との対話です。つまり、神に呼ばれている私たちの人生は神との対話です。「私はどのように生きるのか」という自分の召命にかかるる問いかけは、いつでもどのような人に対しても神からのものです。召命とは人間にとつて、この神との対話を受け入れることです。

神の愛に応える私の道をはつきりと知つて、その道を歩んでいるからです。

召命とは、突然神の呼びかけが聞こえてくるといったものではないでしょう。私の場合もそうでした。召命とは、人が真剣に自分の将来を考え、進路を見つめ、キリストの特別の弟子となることへの憧れを心に感じることから始まります。その憧れが自分の心中で打ち消すことのできないものとなり、時間が経つにつれて大きくなってくるとすれば、それは召命に気付いたしるしです。

7. 神のみ心に従う

「あなたがたが私を選んだのではない。私があなたがたを選んだのである」(ヨハネ15・16)。召命とは、人間一人ひとりに対する神の特別のみ心であり、神からの選びです。あるいは司祭や修道者に、ある人は信徒として招かれています。自分に対する神のみ心が何であるかを見出すことはすべての



キリスト者の大切な務めであり、人生の具体的な選択を行うときには、この神のみ心をよく考え方理解した上で選択すべきです。

召命は外から押し付けられるようなものではありません。神は私の内におられます。神のみ心に従うとは、自分の最も深い本性に従うことになるのです。聖霊が私の心の奥底に注がれて、表面的な自分ではなく、神の目に映る自分の自我を発見し、受け入れるように導かれます。恵みと自由は対立しません。

そのために、神は私たちの人生の途上で、私たちと共に歩み、私たちがただ自分で生涯を築いていくのではないことを明かされます。ですから自分史の中に働く神の現存に敏感であることが大切です。時に感じる孤独感を捨て、むしろイエスと同様に自分の全てを委ねることのできる御父がそばにいて下さることを知るのです。召命の原点は、「私たちとともにいる神」(エンマヌエル)です。

8. 自分の召命を考える

召命はすべての人にすでに豊かに与えられています。神は私たちがそれに気づき、自由に応えようとする人間の協力を待っておられます。京都教区のすべての信徒の皆さん、キリスト者として自分の召命を考えましょう。キリスト者としてどのように生きるにせよ、また生きてきたにせよ、自分の召命の道をいつも意識して生きることは、その人の生き方をよ

り肯定的で積極的なものにします。家庭で、仕事で、社会で、教会で自分がどのような務めをはたすべきか、だれにとつても自分の召命を考えることは信仰を深め、喜んで生きる力があらたに授けられるよい機会です。そして、信徒自らが自分の召命を真剣に考えるときに、「司祭を育てるために私も招かれている」という自覚と責任をもつことができます。

9. 青年の皆さんへ

「生きているのは、もはやわたしではなく、キリストこそわたしのうちに生きておられるのです。今わたしがこの世に生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身をささげられた、神の子に対する信仰によって生きているのです」（ガラテヤ2・20）。昨年の6月29日聖ペトロ・聖パウロの祝日から始まった「パウロ年」は今年の同祝日まで、まだ半年あります。ベネディクト16世教皇は言わされました。「もつとも深くパウロを動かしたものは、イエス・キリストによって愛されたこと、そして、この愛を他の人々に伝えたいという望みでした」と。（注4）宣教をめざした召命の原動力はキリストの愛です。

若い人たちに特に呼びかけます。キリストの愛のまなざしを感じたら、聖霊の声に素直に耳を傾けてください。あなたがたの人生をかけて無条件に従いなさいと呼びかけられたら、イエスに熱心に応えるのです。キリストの弟子として働くことのすばらしさに目覚めたら、それは何にも代えられな

い喜びです。一度限りの人生で、すべてをおいて手にしたい宝です。また、この機会に、ラテン・アメリカやフィリピン、ベトナムなどのアジアから日本に来ている外国籍信徒の若者の皆さんにも言います。皆さんも是非日本で教区司祭や修道者になることを考えてください。

10. 召命を受けとめる自由な心

では、どうしたら召命を神からの愛として受けとることができるのでしょうか。まず、キリスト者は回心の歩みの中で起ころる「信仰での恐れ」というものを絶えず乗り越えていかなければなりません。この恐れは自分の召命をどのように確認するかによって克服していくことができます。そこで、まず自分の中に神の招きを

「理解していない」しるしを見つけます。自分や他人への不満が多いとき、生活への一般的な不満があるとき、悲観主義的な考え方見方に傾くとき、はたまたすぐイライラしたり、怒りに囚われているときなどです。このようなときの心は



りません。

反対に神の招きを「幸せに思える」しるしがあります。困難なときにも平和な感情を持つとき、孤独のときにも自分を見失わないとき、小さなことにも喜びを見いだせるとき、犠牲する用意があるとき、失うことを恐れず断念する気持ちが持てるときなどです。いいかえれば、神が自分の内で働いておられることを素直に受けとる自由な心を感じるときです。神の呼びかけに応えられないと嘆く臆病な私たちを神は忍耐強く愛し、うぬぼれや傲慢な信仰を淨め、主への搖らぐことのない信頼と希望のうちに私たちを強くしてくださいます。

11. 召命促進のために祈り、働く

教会は祭司的、預言者の、王的な民として、祈りと秘跡的な生活、福音宣教、愛の奉仕をとおして、司祭への召命を促進し、そのために奉仕します。おのののキリスト者は自分が属する教会共同体において自分固有の召命を見いだし、これに寛大に応え、教会の建設と使命のために共に働くよう招かれています。

小教区や修道院の共同の祈りで、また個人の祈りで、司祭召命を願う祈りを定期的に唱えています。「収穫は多いが働き手が少ない。だから収穫の主に願いなさい」(マタイ9・37～38)。召命のための祈りは、召命が神からのものであり、神によって完成されるものであることを教えてくれます。実

に召命のための祈りは全教会のための切なる祈りであると同時に、各自の召命を歩む決心と熱意の恵みを願う祈りでもあります。

司祭と奉獻生活者は、召命とは何かを力強く現代的な形で明確に示す必要があります。そのためには、皆さんはまず自分の召命を忠実に生きることが求められます。

信徒の皆さんは、家庭と仕事を通して社会

で福音を証し、「共通祭司職」に基づく教会での信徒固有の働きを強く意識しそれを具体的に生きることができるようになり、典礼と祈りに積極的に参加し、聖書に親しみ、信仰を分かち合い、さらに福音宣教者となる学びを続けてください。福音によって動機づけられたボランティア活動は、無償の奉仕の意義や犠牲と自己奉獻の価値を学ぶよい機会です。きっと召命のきつかけを見出すことでしょう。



12. マリアと共に召命のために祈る

司祭召命は神の恵みなしにはあり得ません。司祭召命のために祈りながら、教会には必要な召命が神から十分に与えているという信仰と、必要な助けが与え続けられているという希望をしっかりと保ちましょう。

他のだれにもまして、召命のたまものを完全に生きた人間は聖母マリアです。「わたしは主のはしためです。おことばどおり、この身になりますように」(ルカ1・38)と答えたマリアの模範にならうために、私たちはあり余る恵みをいただいているのです。パウロが言うように、この恵みをけつして無駄にしてはいけません。

私たちは自分がちっぽけな存在であることをわきまえていきます。にもかかわらず、神は私たちが限界をもつ罪深い存在であることを承知の上で、なお「あなたたちは世の光である」と呼びかけられます。それは、私たちが自分の力で光になるのではなく、キリストの光を反射し伝播することによって光となりうるからです。

今年も京都教区の福音宣教の歩みを聖母マリアの取次ぎによって父である神様におささげし、平和の元后であるマリアさまを通して、世界の平和のための祈りを続けましょう。

2009年1月1日 神の母聖マリアの祝日

(注1) 京都カテドラル・カトリック河原町教会の告解室

に「殉教者の間」が完成し、聖フランシスコ・ザビエル像(神戸市博物館所蔵)の複製画、京都の大殉教図と京都の聖ラザロのエッチングガラスが設置されました。

(注2) ヨハネ・パウロ2世使徒的勧告、『現代の司祭召命』37。

(注3) 現在の教会法では、従来修道者と称された身分は、「修道会」と「在俗会」を併せた「奉獻生活の会」と、「使徒的生活者(会)」に分類される。

(注4) 2008年6月28日聖ペトロ・パウロ使徒の祭日の前晩の祈り。



カトリック河原町教会マリア像

—編集部からのお知らせ—

今年は邦文の別冊年頭書簡は発行いたしません。
従つて、この年頭書簡を大切に保管していただき
1年を通じて分かれ合いなどに活用してください。

- 20日㊁ 14時 教区集会司式者学習会
 21日㊂ 14時 滋賀地区合同堅信式（大津）
 23日㊃ 14時 教区幼稚園連名 園長会
 26日㊅ 19時 奈良聖書講座
 27日㊆ 10時 奈良聖書講座
 28日㊇ 10時 パウロ年閉年ミサ（河原町）
 14時 青年のつどい
 （河原町ヴィリオンホール）
 29日㊈ 14時 女子カルメル修道会訪問（衣笠）
 30日㊉ 14時 教区カトリック学校連絡会

7月

- 5日㊁ 13時 滋賀 湖東ブロック司教訪問
 （草津）
 12日㊂ 10時 京都コリアンセンター ミサ
 19日㊃ 13時 四日市教会・英語ミサ
 26日㊅ 10時 彦根教会・ポルトガル語ミサ
 29日㊆ 19時半 教区聖書講座（河原町）
 30日㊇ 10時 教区聖書講座（河原町）

8月

- 2日㊁ 14時 松阪教会・英語ミサ
 4日㊃ 15時 比叡山平和の祈り
 5日㊄—7日㊆ 教区中学生広島巡礼
 9日㊁ 15時 京都南部 東ブロック平和ミサ
 （河原町）
 17時 平和行進（河原町）
 10日㊂—11日㊃ 教区カトリック学校教職員修養会
 29日㊅ 教区 教会学校研修会（河原町）
 30日㊆ 11時 山国教会ミサ

9月

- 6日㊁ 11時半 長浜教会・ポルトガル語ミサ
 13日㊁ 13時 奈良南部ブロック司教訪問
 （大和高田）

- 20日㊁ 15時 久居教会・ポルトガル語ミサ
 27日㊂ 12時 第7回 教区国際ファミリー
 デー 京都南部地区（河原町）

10月

- 4日㊁ 10時 「京都の大殉教」新福者顕彰ミサ
 （河原町）
 9日㊁ 9時半 特別臨時 司教総会（中央協）
 11日㊁ 亀山教会 創立50周年 感謝ミサ
 18日㊁ 13時 京都南部 南ブロックA司教訪
 問（伏見）
 20日㊁—27日㊁ 教区司祭 年の黙想

11月

- 1日㊁ 14時 衣笠墓苑 墓参
 8日㊁ 大和八木教会 献堂50周年ミサ
 15日㊁ 滋賀地区ラテンアメリカ人共同
 体堅信式
 22日㊁ 三重地区ラテンアメリカ人共同
 体堅信式
 26日㊁ 10時半 司祭全体集会・司祭評議会

12月

- 5日㊁ 13時半 第11回 教区宣教司牧評議会
 6日㊁ 11時 彦根教会・英語ミサ
 13日㊁ 14時 丹後大宮教会・英語ミサ
 19日㊁ 11時 東門陽二郎師 司祭叙階50周年
 感謝ミサ（河原町）
 24日㊁ 21時 主の降誕深夜ミサ（河原町）
 25日㊁ 10時 主の降誕ミサ（河原町）

2009年 大塚司教の主要予定

1月

- 1日(木) 10時 河原町教会・新年ミサ
4日(日) 12時 河原町教会・英語ミサ
5日(月) 11時 司祭・修道者新年ミサ(河原町)
11日(日) 10時 教区一斉「召命促進元年」
開始ミサ(河原町)
18日(日) 9時 女子カルメル修道会ミサ(衣笠)
25日(日) 10時 京都コリアンセンター ミサ
16時 キリスト教祈祷一致週間
KCCの集い(河原町)

2月

- 1日(日) 15時 日本26聖人殉教者顕彰ミサ
(西陣)

8日(日) 13時半 京都教区女子奉獻生活者の会
総会ミサ (河原町)

15日(日) 聖母の小さな学校 創立20周年
シンポジウム (西舞鶴)

16日(月)~20日(金) 2008年度臨時司教総会
(中央協)

22日(日) 11時 青年ネットワークミーティング
ミサ (奈良野外礼拝センター)

3月

- 1日(日) 14時半 教区合同洗礼志願式(河原町)
6日(金) 11時 諸宗教対話養成コース
8日(日) 14時 伏見教会・スペイン語ミサ
15日(日) 13時 京都南部 北ブロック司教訪問
(西陣)
21日(土) 11時 大塚司教 司祭叙階25周年
感謝ミサ(河原町)
22日(日) 10時 故岡淑人師 10年祭ミサ
(河原町)

- 23日④ 15時 教区 保育者研修会・ミサ
(河原町)

25日⑤ 9時 女子カルメル修道会ミサ(衣笠)

25日⑤—27日⑥ 侍者合宿

27日⑥ 11時 聖香油ミサ(河原町)

29日⑦ 13時 三重 北勢ブロック司教訪問
(鈴鹿)

4 目

- 5日④ 14時 長浜教会・英語ミサ
9日⑥ 19時 主の晚餐（河原町）
10日⑤ 19時 主の受難（河原町）
11日③ 19時 復活徹夜祭（河原町）
12日② 10時 主の復活ミサ（河原町）
26日④ 13時 三重 南勢ブロック司教訪問
（伊勢）

5 月

- 2日(土) 9時 セントヨゼフ女子学園創立
50周年記念式典

3日(日) 14時 八木教会・スペイン語ミサ

7日(木) 10時半 司祭全体集会・司祭評議会

10日(日) 13時 京都北部 舞鶴ブロック
司教訪問（東舞鶴）

31日(日) 14時 京都南部地区 合同堅信式
(河原町)

6 月

- 6日(土) 13時半 第10回 教区宣教司牧評議会
7日(日) 13時半 奈良ファミリーデー・合同
堅信式ミサ(奈良野外礼拝センター)
9日(火)~11日(木) 第9回大阪教会管区司祭研修会
14日(日) 桑名教会 創立50周年 記念ミサ
15日(月)~19日(金) 2009年度定例司教総会
(中央協)

ブロック・小教区

奈良教会・結婚準備セミナー 問合せ 奈良教会
 日曜日13時、水・土曜日19時 会費11,000円
 1月18日㊁、24日㊂、31日㊃
 2月7日㊁、11日㊂、14日㊃、21日㊁、22日㊂

カトリック聴覚障害の会京都グループ

場所：いずれもカトリック会館 6階ホール
 「聖書と典礼」を基に手話表現の学習会
 日時：木曜日13時
 1月8日、2月12日、3月12日、4月9日
 5月14日、6月11日、7月9日、8月休み
 9月10日、10月8日、11月12日、12月10日
 手話ミサと交流会（2月は手話ミサと定期総会）
 日時：年4回金曜日午前11時
 2月20日、5月22日、9月18日、12月18日

京都カトリック混声合唱団

練習時間：日曜日14時 土曜日19時
 （奇数月の土曜日は18時15分からミサ奉仕）
 1月11日㊁、1月24日㊂
 2月8日㊁、2月28日㊂
 3月8日㊁、3月21日㊂、3月29日㊁
 4月12日㊁、4月25日㊂
 5月10日㊁、5月23日㊂、5月31日㊁
 6月14日㊁、6月27日㊂
 7月12日㊁、7月25日㊂
 8月2日㊁、8月22日㊂、8月30日㊁
 9月13日㊁、9月26日㊂
 10月11日㊁、10月24日㊂
 11月8日㊁、11月21日㊂、11月29日㊁
 12月6日㊁、12月13日㊁
 ※チャリティーコンサートの予定あり

京都キリスト研究会

定例会：日曜日14時・カトリック会館
 1月25日、2月22日、3月22日、4月26日
 5月休会、6月28日、7月26日、8月休会
 9月27日、10月25日、11月22日、12月休会
 1月5日㊁：列福感謝ミサ 時刻未定（河原町）
 2月1日㊁：日本26聖人殉教記念ミサ14時
 （西陣）
 5月10日㊁：都の聖母奉賛ミサ14時（將軍塚）
 8月23日㊁：南蛮寺跡ミサ14時（平新旅館予定）
 11月22日㊁：追悼ミサ14時（河原町地下小聖堂）
 12月13日㊁：懇親会 別途案内

京都カナの会

例会、結婚相談室：日曜日13時30分
 場所：カトリック会館 6階ホール
 1月25日、3月1日、5月3日、6月7日
 7月5日、9月6日、10月4日、12月6日

在世フランシスコ会京都兄弟会

集会日：毎月第3日曜日の前の土曜日
 13時30分・フランシスコの家
 1月17日、2月14日、3月14日、4月18日
 5月16日、6月20日、7月18日、8月休み
 9月19日、10月17日、11月14日、12月19日

糠みその会

例会：木曜日 19時 九条教会ホール
 1月29日、2月26日、3月26日、4月30日
 5月28日、6月25日、7月30日、8月27日
 9月24日、10月29日、11月26日、12月10日

2009年 教区内の活動予定

青年センター

- 1月15日㊁ 青年センター20周年記念の集い
24日㊂ 聖書の集い
- 2月7日㊀ 運営委員会(奈良地区)
8日㊀ 小教区訪問
21日㊁22日㊀ ネットワークミーティング
in京都
22日㊁23日㊀ カトリック青年連絡協議会
in京都
28日㊂ 聖書の集い
- 3月28日㊁ 聖書の集い
(教区中学生・高校生春合宿)
- 4月18日㊁ 運営委員会(京都南部地区)
19日㊀ 小教区訪問
25日㊁ 聖書の集い
- 5月17日㊀ 青年スポーツ大会
23日㊁ 聖書の集い
- 6月20日㊁ 運営委員会(三重地区)
21日㊀ 小教区訪問
27日㊁ 聖書の集い
28日㊀ 青年の集い(聴いてよ! 司教様!!)
- 7月25日㊁ 聖書の集い
- 8月22日㊁ 聖書の集い
29日㊁ 運営委員会(京都北部地区)
30日㊀ 小教区訪問
(教区中学生広島平和巡礼)
(教区高校生夏合宿)
(カトリック青年アジア体験学習)
- 9月26日㊁ 聖書の集い
(ネットワークミーティングin広島)
(カトリック青年連絡協議会in広島)
- 10月17日㊁ 運営委員会(青年センター)
18日㊀ 小教区訪問
31日㊁ 聖書の集い
- 11月14日㊁15日㊀ YES2009

28日㊂ 聖書の集い

12月12日㊂ 運営委員会(滋賀地区)

13日㊀ 小教区訪問

26日㊁ 聖書の集い

(教区中学生・高校生冬合宿)

滋賀カトリック協議会

例会:日曜日 13時30分(9月のみ12時30分)

2月15日(大津)、4月19日(草津)、6月28日(彦根)、9月27日(長浜)、11月22日(唐崎)

4月29日㊁ ニコラオ福永ケイアン列福感謝
安土セミナリヨ記念ミサ

6月21日㊀ 合同堅信式(大津)

7月11日㊁ 典礼研修会

11月23日㊀ びわこウォーカソン

聖書委員会

聖書講座:5月20日~11月19日、年12回

(8月休講)

毎月2回水曜日夜コース19時30分

毎月2回木曜日昼コース10時30分

河原町地下ヴィリオンホール

テーマ・キリストに捕らわれて

—パウロの福音宣教—

よく分かる聖書の学び:毎月1回水曜日10時30分

1月21日、2月18日、3月18日、4月休み

5月20日、6月17日、7月15日、8月休み

9月9日、10月28日、11月18日、12月16日

講師 北村善朗師 会費1回300円

大塚司教の

1月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日㊁ 10時 河原町教会・新年ミサ
- 4日㊂ 12時 河原町教会・英語ミサ
- 5日㊃ 11時 司祭・修道者新年ミサ（河原町）
- 7日㊅ 13時 中央協 予算審査会
- 8日㊆ 10時 中央協 常任司教委員会
- 11日㊇ 10時 教区一斉「召命促進元年」
開始ミサ（河原町）
- 12日㊈ 15時40分 聖母女学院 成人の集い
- 15日㊊ 18時 青年センター20周年記念の集い
- 18日㊋ 9時 女子カルメル修道会ミサ（衣笠）

1月のお知らせ

京都女子カルメル修道会

パウロの年のカルメル講演会—その3—
25日㊌ 14時 講演とミサ
講演 パウロの回心とテレーズの回心
講師 伊従信子氏（ノートルダム・ドゥ・ヴィ）
問合せ Tel. 075 (462) 6764

聖ドミニコ女子修道会

ロザリオを共に祈る会 16日㊉ 10時半
対象 どなたでも当日どうぞお出でください
みことばを聴こう！ 2月11日㊊ 9時半
指導 米田彰男師
対象 青年男女 会費 500円
場所 いずれも、聖ドミニコ女子修道会
問合せ Tel. 075 (231) 2017

JOC

働いている青年の集い

集会場所：京都働く人の家（九条教会前）
連絡先 Tel. 090 (8207) 1831

22日㊁ 10時 司教顧問会・責任役員会

23日㊂ 11時 大阪教会管区 司教会議

（大阪大司教館）

25日㊄ 10時 京都コリアンセンター ミサ

16時 キリスト教祈祷一致週間

KCCの集い（河原町）

27日㊆ 15時 共同宣教司牧推進チーム事務局

会議

28日㊇ 11時 中央協 諸宗教部門 会議

29日㊈ 10時半 中央協 第6回開校準備

司教委員会

31日㊉ 14時 済州交流部 会議

ノートルダム教育修道女会

自分を生きる道（召命）を祈る

24日㊁ 14時～25日㊂ 16時迄

場所 ノートルダム唐崎修道院

講師 ウォード師（御受難会）

対象 独身女性信徒 費用 3,000円

申込み Tel. 077 (579) 2884

FAX. 077 (579) 3804 (Sr. 安井)

心のともしび 番組案内

○テレビ（衛星・ケーブル放送）

スカイAスポーツプラス

毎週土曜日朝8時45分放送

渡辺和子によるシリーズは3月まで続きます。

4月から野下千鶴師（長崎教区）のお話が始まります。

○ラジオ

1月のテーマ「希望」

④～㊁ 朝5時15分より5分間

問合せ Tel. 075 (211) 9341

「一万匹の蟻運動」基金報告

累計 53,375,372円（11月17日現在）